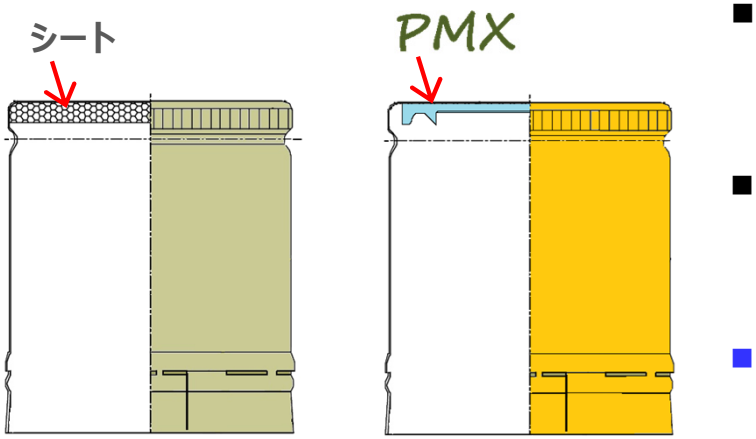
NEW!

PP 30ED PMX

PMキャップの新製品

KITA SANGYO



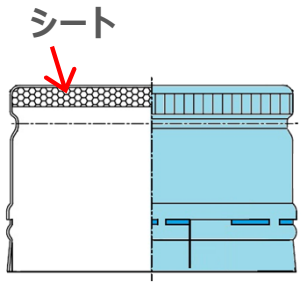
（従来品）
PP 30ED
（シート･ライナー）

（新製品）
PP 30ED PMX
（PMライナー･互換タイプ）

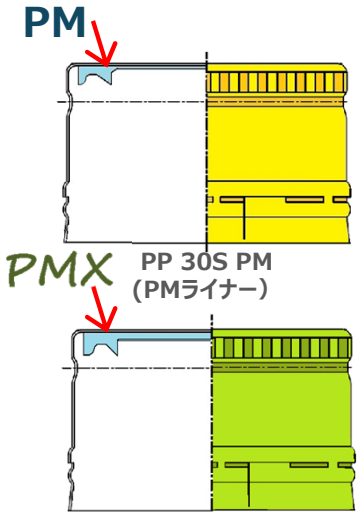
- 「30mmED･シート･ライナー」と同一規格の、「PM（ポリエチレンモールド）ライナー」のPPキャップです。
- 「PMライナー」は半溶融ペレットをキャップシェル内に高速で挿入する工程の制約上、従来はPP30SやPP28SHなど、全高20mm程度以下のキャップでのみで実用されていましたが、このたび、高さの高い30EDキャップ（全高35mm）で製品化。日本初、おそらく世界でも初の製品です。
- 基本的にキャッパー調整なしでご利用いただける「PMX」タイプ（＝互換タイプ）です。（必ず貴社の実生産ラインで適性をご確認ください。また製品液でフレーバー適性をご確認ください。）
- BCP：シート･ライナーは専業の原反シートメーカーに依存します。地震などで万一供給が止まるリスクを考慮して、ライナーの多様化をお勧めします。
- シート･ライナーに比べて温度変化による機密性が良好で、清酒はもちろん、焼酎や泡盛など常温充填品に好適。耐衝撃性はシートライナーと同等。また、樹脂の使用量が相対的に少なく、環境に優しい。



PP 30S



PP 30S
（シート･ライナー）



PP 30S PM
（PMライナー）

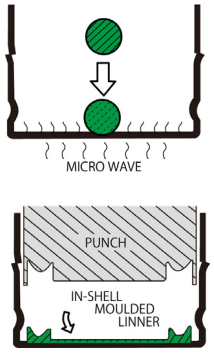
PP 30S PMX
（PMライナー･互換タイプ）

- ✓ 清酒･焼酎で一番多用される30mmSTDのPPキャップには、基本の「シート」仕様のほか、「PM」仕様と「PMX」仕様の3つがあります。
- ✓ 「PM」は通常の「シート」仕様より全高が0.4mm低いので、切り替えにはキャップ供給機やキャッパーの調整が必要な場合があります。
- ✓ 「PMX」は「シート」仕様と同じ全高で、原則的にキャップ供給機やキャッパーの調整は不要です。
- ✓ 「シート」「PM」「PMX」には、それぞれ耐熱仕様、耐熱圧仕様などがあります。

<ミニ知識>

「シート･ライナー」：アルミのキャップシェルに、円形に打ち抜いたシート（2mm厚の「PETフィルム貼り発泡PEシート」が標準）を挿入。シートのクッション性でビン口を密封します。キャップの原型技術です。

「PMライナー」：イラストのように、アルミのキャップシェル内に半溶融状態の球形PEペレットを落とし、パンチでキャップに押し付けて精密な環状部を成型します。 成型した環状形状でビン口を密封します。シートに代わる次世代技術で、「インシェルモールドライナー」とも称します。



FSSC 22000　大阪工場　奈良工場